

運動学と動力学

- 運動学(キネマティクス, kinematics)
 - ロボットアームのリンクの位置や速度などの関係を幾何学的に考える

どのような姿勢を とっている/とるべきか?

カ,トルクな運動に

各関節の角度から、先端の位置、向きを求める ⇒ 順運動学

先端の位置, 向きから, 各関節の角度を求める ⇒ 逆運動学

ベクトル, 行列, 三角関数による計算

カ、トルクによってどのよう な運動になるか?

- 動力学(ダイナミクス, dynamics)
 - ロボットアームにかかる力やトルクと運動との関係を考える
 - □ 運動方程式と微積分学



はじめに

- 前回の内容
 - センサとは
 - 色々な内界センサ
 - 色々な外界センサ
- 今回の内容
 - ベクトルの基礎
 - 内積と外積
 - トルクと角速度のベクトル表現
 - 行列の基礎

-

ベクトルの基礎

- 向きと大きさを持った量をベクトルという
- 変位、速度、加速度、カ、トルク、角速度等様々な物理量がベクトルで表される
- 一方、長さ、質量、面積など大きさのみで表される量をスカラーという
- 工学では、主に縦ベクトルが使われる

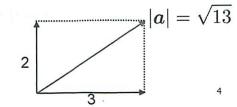
2次元縦ベクトル (列ベクトル) 3次元横ベクトル (行ベクトル)

例 $a = \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix}$

$$b = \begin{bmatrix} 3 & 2 & 5 \end{bmatrix}$$

ベクトルの大きさ (スカラーになる)

$$|a| = \sqrt{3^2 + 2^2} = \sqrt{13}$$



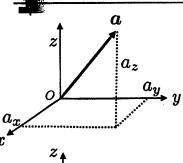
- a 足し算,引き算は成分同士で加減

$$\begin{bmatrix} a_x \\ a_y \\ a_z \end{bmatrix} \pm \begin{bmatrix} b_x \\ b_y \\ b_z \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} a_x \pm b_x \\ a_y \pm b_y \\ a_z \pm b_z \end{bmatrix}$$

。 3×1の行列と1×3の行列のかけ算 ⇒ 3×3の行列になる

$$\begin{bmatrix} a_x \\ a_y \\ a_z \end{bmatrix} \begin{bmatrix} b_x & b_y & b_z \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} a_x b_x & a_x b_y & a_x b_z \\ a_y b_x & a_y b_y & a_y b_z \\ a_z b_x & a_z b_y & a_z b_z \end{bmatrix}$$

位置ベクトル



3次元直交座標系

(右手系)

例) 直交単位ベクトル

■ 単位ベクトルを用いた位置ベクトルの表現

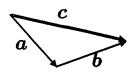
$$a = a_x \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix} + a_y \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix} + a_z \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$$

$$= a_x i + a_y j + a_z k$$
単位ベクトル方向成分の大きさ



ベクトルの基礎

■ ベクトルの足し算の図的意味



$$oldsymbol{a} + oldsymbol{b} = oldsymbol{c}$$
 $oldsymbol{b} = oldsymbol{c} - oldsymbol{a}$ (終点一始点)

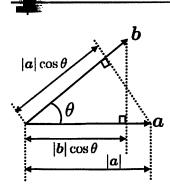
□ 以下の性質を持つ

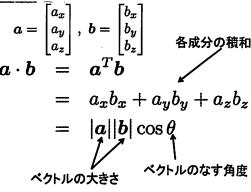
■ 転置(transpose):(上付きの) 配号T 縦⇔横の変換

$$m{a} = egin{bmatrix} a_x \ a_y \ a_z \end{bmatrix}, \ m{a}^T = egin{bmatrix} a_x & a_y & a_z \end{bmatrix}$$

$$\boldsymbol{b} = \begin{bmatrix} b_x & b_y & b_z \end{bmatrix}, \ \boldsymbol{b}^T = \begin{bmatrix} b_x \\ b_y \\ b_z \end{bmatrix}$$

トルの内積(・, inner product, スカラー積)





- 値はスカラー
- 直交するベクトルの内積 ⇒0
- 同一直線上のベクトルの内積 ⇒ ベクトルの大きさの積
- □ 直交単位ペクトルの内積

$$\mathbf{i} \cdot \mathbf{j} = \mathbf{j} \cdot \mathbf{k} = \mathbf{k} \cdot \mathbf{i} = 0$$

$$i \cdot i = j \cdot j = k \cdot j = 1$$